

-  **で英語をマスター**
-    **でキャリアアップ**



オーストラリア留学の人口は英語圏の国としてアメリカ、イギリスに次いで多く、治安や物価などが留学先として適しており、留学生数も年々増加しています。オーストラリア留学に行く国籍はマレーシア人がトップで、香港、中国、シンガポールと続いています。中でも学生数の増加が著しい国が、中国、インド、アメリカとなっています。オーストラリア英語のベースはイギリス英語ですが、さまざまな国籍の人が暮らす移民国家なので、イギリス英語だけでなくアメリカ英語を話す人もいます。オーストラリアには1,200超の大学や専門学校、その他各種教育機関が点在しコースの数は26,000以上に及びます。また、オーストラリア政府は「留学生教育産業はオーストラリア最大のサービス輸出産業」と発表しており、教育水準が非常に高く、英語学習環境として定評があります。



英語力

欧米留学

2カ国留学



ニュージーランド留学のメリットは人気の留学先であるオーストラリアに近いこともあり、日本人があまり多くないことです。オーストラリアの影に隠れてなかなか脚光を浴びないニュージーランドですが、治安がとてよく、手つかずの状態が自然が多く残され、日本同様、温泉が沸き、四季もあるので勉強以外の面でも楽しむことができます。また、ニュージーランドの教育制度はイギリスの教育制度に基づいて作られているので、質の高い授業を世界レベルの環境で受講することができ、国立や私立の教育機関などはNew Zealand Qualifications Authorityという専門機関によって管理されているため留学生の受け入れ体制は他の留學生受入国と比べて非常に高いレベルにあります。先進国水準にある英語圏の中では最も授業料が抑えられることも特徴の一つです。



《参考例》



日本の約27倍、世界第二位の国土面積を誇るカナダは、世界的にも教育水準が高く、大学間のレベル差が少なく、国の安全性と清潔さも世界トップレベルで、生活環境や気候、治安などのあらゆる面で留学に適していて、シティライフと大自然を満喫しながら留学体験ができる点が魅力です。さまざまな人種が集うモザイク国家で国際感覚を磨けることも特徴で公用語が英語とフランス語なので2つの言語を学ぶこともできます。5人に1人がカナダ以外の生まれで、最大都市のトロントでは人口の約半数を移民が占めています。そのため外国人が受け入れられやすい環境が整っています。英語が誰にでも聞き取りやすく比較的になまりが少ないことも特徴の一つです。

2カ国留学・ワーホリのことなら

フジヤマインターナショナル